

平成18年10月発行

11月1日～7日は
文化財保護強調週間

文化財愛護シンボルマーク



ぶんかざい

おおた

第9号



文化財まもるくん

大田区教育委員会では、先人が残した大切な郷土の歴史遺産である文化財の保存、学校教育での文化財活用を積極的に展開しています。

10月1日から11月30日は東京文化財ウィークです。区内でも記念の事業が開催されます。皆様のご参加をお待ちしています。

大田区指定文化財の保存事業報告

「しょうめんこんごうおよび に どうじよんやしりゅうぞう青面金剛及び二童子四夜叉立像」の保存修理事業

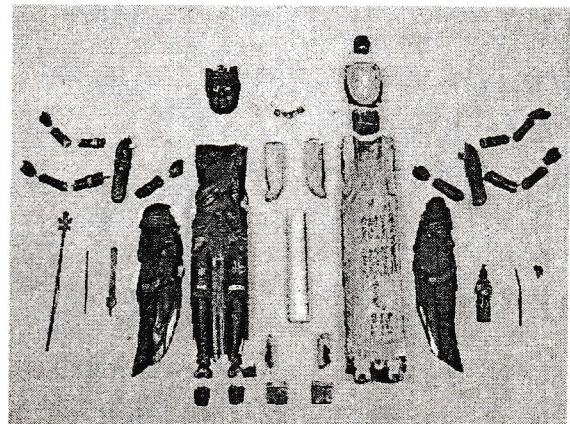
解体修理中の仏像から古文書が発見されました!

田園調布南24-18 密蔵院
<区指定文化財・区補助事業>

「沼部の庚申さま」と呼ばれ、庚申信仰の本尊として信仰されてきました。童子や夜叉、三猿を完備していますが、制作年代等は不明でした。近年、彩色が浮き、剥落箇所が甚だしくなったため、補修補彩色等の保存修理が行われました。修理途中で解体修理に変更され、その結果、納入文書が発見されました。また像内背面及び前面に長文の造像銘記が確認されました。

これによって、元禄7年(1694)、野村文左衛門尉秀豊を施主とし、江戸浅草町大仏師浄心が造り、多数の結縁者(けちえんしゃ)が関わっていたことが明らかになりました。また納入文書の裏書きから、文化9年(1812)に修理されたこともわかりました。

なお、この修復仏像の見学会を行います。開催案内記事を確認の上、ご参加ください。



解体された仏像

このほか、補助事業として、平成16年の台風で幹折れ等の被害を受けた「しいの古木」(千鳥3-11-16、原田方)の保護事業も行われました。

埋蔵文化財調査報告

くがはらしょうがっこうないせき 久原小学校内遺跡

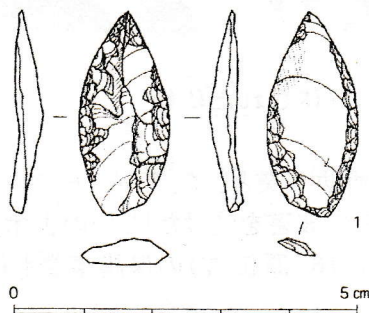
平成17年6月、久が原四丁目8番の建設工事に伴い、約450㎡を発掘調査しました。

調査の結果、縄文時代中期後半～後期前半(4000年～3500年前頃)の9基の土坑(どこう、1.5m×1.2m)と229基の柱穴(ちゅうけつ、径30cm)が発見されました。柱穴が廻る土坑6基は墓と考えられ、柱穴群は墓標と思われます。

また、平安時代はじめ(1200年前頃)の火葬墓(1.12m×0.96m 深さ30m)1基が発見されました。火葬人骨は、土師器(はじき)製の蔵骨器(口径20.6cm 器高26.9cm 底径4.5cm)に納められ、口を下にして土坑に埋められていました。火葬された人物は、30～40代の男性と推定され、現在の大田区が古代荏原郡であった頃の地方役人と考えられます。

さらに、出土した陶器片から室町時代と推定される、幅2.3m長さ7.5mにわたる道路跡が発見されました。路面には造り替えた跡が5回認められ、江戸時代まで使用されたと思われます。

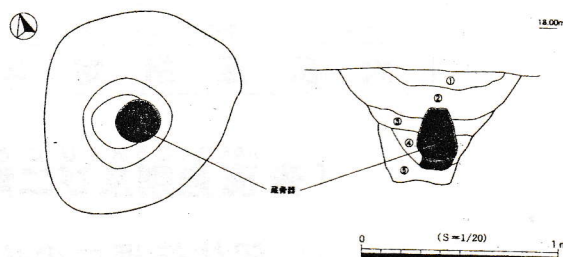
なお、関東ローム層の上部から旧石器時代の石器が単独で発見されました。槍先につけた石器を狩猟中に落とし、拾い忘れたのでしょうか? 12,000年ぶりの落し物発見です。



旧石器時代の石器実測図



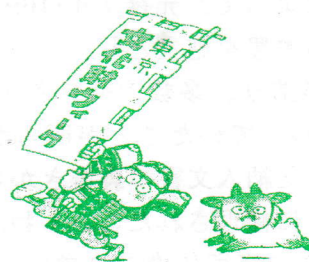
平安時代火葬人骨を入れた蔵骨器



火葬墓出土状態実測図

平成17年度 埋蔵文化財調査件数

発掘届 94件、本調査 4件(久原小学校内遺跡、久ヶ原遺跡、堂寺横穴墓、鶴の木一丁目横穴墓群) 試掘調査 11件(久原小学校内遺跡、田園調布一丁目30番横穴墓、久ヶ原遺跡、桜橋付近遺跡、雪ヶ谷貝塚2件、久ヶ原貝塚、山王遺跡、丸山遺跡、堂寺横穴墓、行方氏館跡)、確認調査 1件(勝海舟墓所付近遺跡・洗足池公園付近遺跡)



文化財まもるくん みらちゃん

文化財調査報告

茅葺きの民家が国登録 文化財になりました！

山崎家住宅主屋<外観のみ公開>

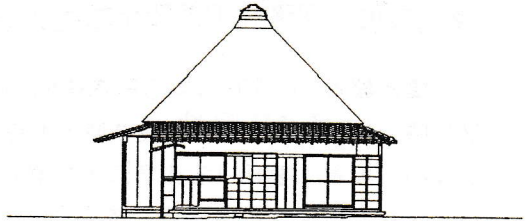
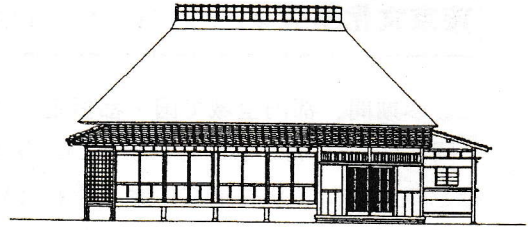
西嶺町33-9

国登録文化財の記念すべき20件目は、茅葺き屋根の山崎家住宅です。

都内の茅葺き民家というと、民家園等に移築されたものと思われがちですが、今も個人住宅として使われています。

明治10年(1877)頃に建てられたと伝えられます。昭和37年(1962)に農業をやめ、その後、土間や台所などは増改築されました。昔と変わらぬ面影は、かつての農村であったころの景観を伝えています。

嶺町や鶴の木辺りは、山崎家住宅ばかりでなく、農家の古い屋敷構えを残す民家や石塔、樹林などが、区内でも比較的多く残っている地域です。



上 正面立面図

下 側面立面図

文化財調査

高橋染工場

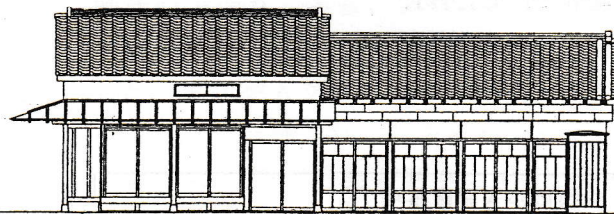
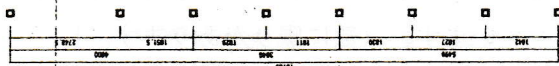
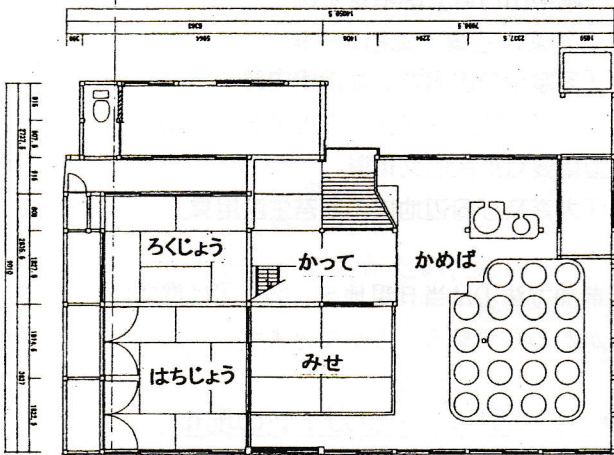
池上一丁目所在

高橋染工場の建物は、藍甕を埋めた染め場が現存する町屋建築で、明治初年に建てられました。今回の調査をもとに、国登録文化財への手続きを進める予定でしたが、平成18年3月に解体されました。調査成果は、かけがえない保存記録となりました。

また、高橋染工場の「藍染め」技術についても、調査を行いました。

当初は糸を染めていましたが、大正5～6年頃から布染めになり、今では職人や商店の印半纏(しるしばんてん)や暖簾(のれん)、手拭(てぬぐい)などに仕立てる木綿布等を染めることになっています。

現在では、本藍こそ使用していませんが、埋設した藍甕を使用した伝統的手法によるものであること、また下絵や型付けも型紙を使用する伝統手法をとっていることなどが確認できました。



上 平面図

下 立面図

ご案内

東京文化財ウィーク (10/1~11/30)

この期間、都内全域で国・都指定文化財が公開 (11/3~11/12) されるほか、各市区町村との連携により各種文化財事業を行います。大田区では、次の事業を実施します。

◆ 文化財保護強調週間記念講演会

- 「講と祭り-アジアの中の日本信仰-」
▽日時 10月21日(土)午後2時~4時
▽講師 坂本 要氏 (筑波学院大学教授・大田区文化財保護審議会委員)
▽会場 大田区役所
▽定員 抽選で40名
▽申込方法 往復はがき10月4日必着
▽申込先 大田区立郷土博物館

◆ 史跡めぐり「田園調布地区」

- 近代建築を中心とした文化財の紹介。
▽日時 11月8日(水)
午後1時30分~4時頃(小雨決行)
▽定員 抽選で60名(グループ参加可)
▽申込方法 往復はがき10月18日必着
▽申込先 大田区立郷土博物館

◆ 修復文化財の公開

- 平成17年度に修復した大田区指定文化財の公開。
▽名称 青面金剛及び二童子四夜叉立像
▽場所 密蔵院(田園調布南24-18)
▽日時 10月27日(金)
① 午後1時30分~2時
② 午後2時30分~3時
▽申込方法 往復はがき10月4日必着
▽定員 抽選で各回50名(2名まで可)
▽申込先 大田区立郷土博物館

大田区教育委員会 郷土博物館 文化財担当
〒143-0025 大田区南馬込五丁目11番13号
Tel 03(3777)1070 Fax 03(3777)1283

◆ 文化財写真パネル展

- 区内の遺跡調査、指定・登録文化財などの写真パネルや遺跡出土品を展示します。
▽期間 ①10月16日(月)~10月26日(木)
②10月30日(月)~11月9日(木)
▽時間 ①②共、庁舎開庁時間
▽場所 ①区役所1階ロビー
②大田西地域行政センター分室
1階ロビー(写真パネルのみ)
▽問合せ先 大田区立郷土博物館

◆ 文化財の公開

- ①大坊本行寺(池上2-10-5)
「法華経板木」都指定有形文化財
11月5日(日)のみ
午前10時~午後4時
「日蓮上人入滅の旧跡」都指定旧跡
11月3日~12日
午前9時30分~午後4時30分
②池上本門寺
「宝塔」都指定有形文化財(池上2-10)
「五重塔」国重要文化財(池上1-1)
午前9時~日没まで
③多摩川台公園内(田園調布1-63-1)
「亀甲山古墳」国指定史跡
「宝萊山古墳」都指定史跡
「多摩川台古墳群」都指定史跡
④大田区立郷土博物館(南馬込5-11-13)
国重要有形民俗文化財
「大森及び周辺地域の海苔生産用具」

参加方法①は当日現地へ、②~④は期間にかかわらず見ることができます。

◆ 文化財ウィークガイドの配布

- 次のところで、文化財ウィークガイドを配布しています。(数に限りがあります。)
▽配布場所 郷土博物館
区政情報コーナー(区役所2階)

往復はがき記載事項

催し物名称・郵便番号・住所・参加者
すべての氏名・電話番号